



○あいさつ

- ・先生や友達、訪問者に自分から笑顔であいさつをする。

○持ち物の始末・整理整頓

- ・かばんや帽子、着替えなどの置き場所や整理の仕方が分かる。

○好きな遊び

- ・したい遊びを見つけて楽しむ。側にいる先生や友達と話をしたりまねをしたりする。

○片付け、手洗い・うがい

- ・使った物は、自分で元の場所に片付ける。生活の流れを知って自分から動こうとする。



○学級での遊び

- ・先生の話聞いて、活動に必要な物を自分で準備する。先生や友達と一緒に絵をかいたり素材で好きな物を作ったりする。

園訪問で、子どもたちの遊びの様子を参観しました。入園・進級後のこの時期、子どもたちは、随分園生活に慣れてきて、笑顔で挨拶を交わしたり、自分なりに遊びや生活を楽しんだりしていました。年中や年長の子どもたちが、困っている小さい友達に声を掛けたり助けたり、遊び方を教えたりする姿も見ることができました。園生活にどんどん慣れていき安心して過ごせるようになると、次第に興味や関心も広がっていき、目的意識をもつようになっていくことでしょう。



自分がしたい遊びをしっかりと楽しみ、充実した生活を進めている子どもたちは、先生や友達との関わりの中で、次第に、一緒に遊んだり、共通の目的に向かって考えたり、力を合わせたりする楽しさや面白さなどを知っていきます。



**【協同性】**・・・友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

○「砂場でダムを造ろう！」「〇〇ごっこをしよう！」「鬼ごっこのルールを考えよう！」  
「どんなお店にするか相談しよう！」

※子どもたちが、遊びを進めていく中で、自分たちで目的を見付け、試行錯誤しながら遊びを進めていくと、達成した時の喜びも大きいと思います。